（別紙）

令和８年 12 月定例会議　一般質問

１番議員　清水　友紀

住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制と福祉の充実を

本町では、第六次開成町総合計画において「地域医療体制の充実」を掲げ、身近な地域で安心して医療を受けられる体制づくりを進めている。

こうした中、県から、県立足柄上病院の病床数を約 300 床から 200 床程度へ削減する方針の素案が示され、今後の地域医療体制への影響が懸念されている。

救急医療体制への影響を見極めるとともに、小田原市立総合医療センターとの連携や、高齢者の在宅療養支援、さらに、身近な地域での出産・子どもの療育環境の整備が重要な課題である。

そこで、町民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる医療体制の構築に向け、次の項目を問う。

１　足柄上病院の見直しに伴う、本町の医療環境や救急医療への影響の認識は。
２　小田原市立総合医療センターとの連携について、現状と今後の取り組みは。
３　高齢者の在宅療養支援体制の充実に向け、どのような施策を講じていく考えか。
４　足柄上地区での出産や、子どもの療育に関する診療体制（専門診療科の誘致や出張診療の構築）に対する町の考えは。